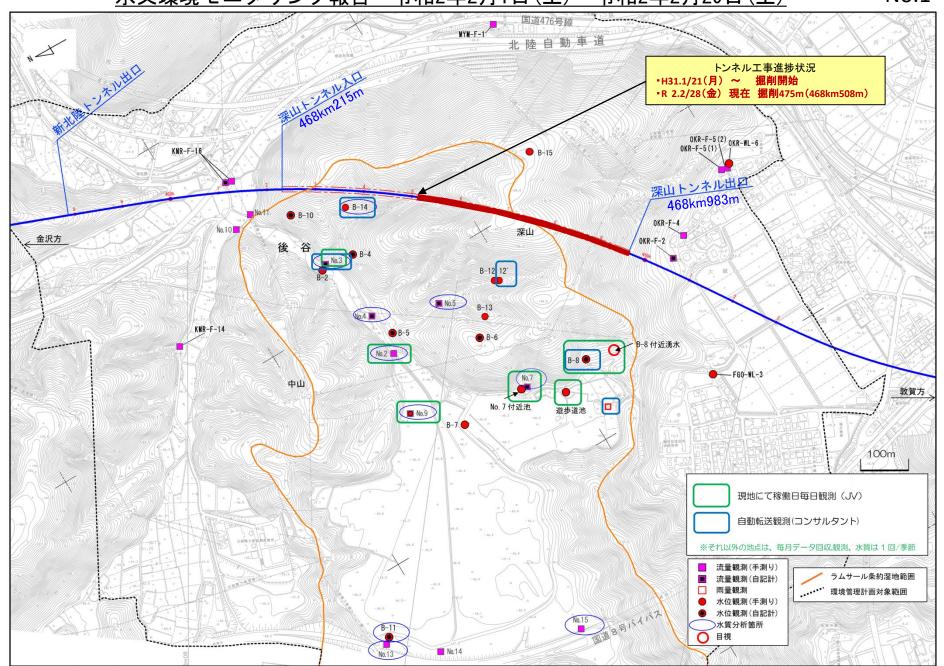
北陸新幹線、中池見湿地付近モニタリング結果

調査期間:令和2年2月1日(土)~令和2年2月29日(土)

「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。

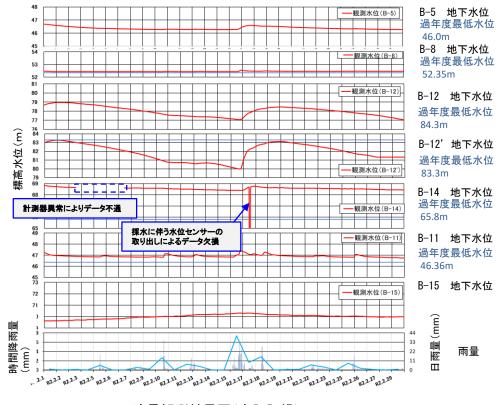


水文環境モニタリング観測地点図

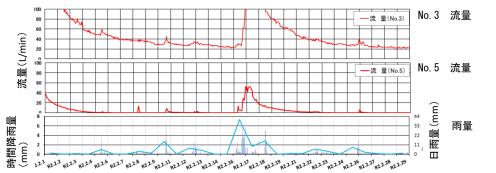
水文環境モニタリング報告 令和2年2月1日(土)~令和2年2月29日(土)

※主要箇所のみ抜粋

地下水位観測結果図(自記記録)



流量観測結果図(自記記録)



全体総括

- ■目立った変動なし 口やや変動あり
- □変動あり(注意体制への移行を検討)

期間中の地下水位低下量

- ■1m未満ないし増加:B-12、B-12'以外すべて
- ■2m未満 B-12、B-12′□5m未満 □5m以上

期間中の流量低下量

■50ℓ/分未満ないし増加: No.4,No.5,No.7 ■50ℓ/分以上: No.3

<u>期間中のpH変動量</u>

■0.5未満:B-8,B-12 口0.5以上 口1以上

日降水量

□15mm未満 ■15mm以上:2日 □50mm以上

月降水量

□80mm未満 ■80mm以上 □130mm以上 □200mm以上

概要

■水位変動について

①目立った変動なし。

②B-8(自動転送):大きな水位低下はみられないが、過年度最低水位とほぼ同じ水位。 ③B-12(自記水位計):1月末の降雨の影響で2月初旬水位上昇がみられるも過年度 最低値を上回らず、水位低下傾向となり先月に引き続き過年度最低値を下回った(先 月△5.8m⇒今月△7.2m)。⇒今後も注視していく。なお、pHの値の変化はみられない。 ④B-12'(自動転送)::1月末の降雨の影響で2月初旬水位上昇し一時的に過年度最 低水位付近となるが、その後は水位低下し過年度最低水位を下回った(△2m以上) B-12に近接しているため同様な状況が推測される。今後も注視していく。 ⑤B-15(自記水位計):本線を挟んで反対側に位置するB-12に比べ降雨の反応は少

⑤B-15(目記水位計):本線を挟んで反対側に位置するB-12に比べ降雨の反応は少ない。2/16まで継続的に上昇傾向であるが、それ以降は若干下降傾向である。比較的路線に近い観測地点でもあるので、今後も注視していく。

⑥No.5(自記):大雨には反応して流量が確認されたが、流量0となる状況が確認された。2月は2/16~18以外は雨量が少なく、無降雨日も多かったことが要因のひとつとして考えられる。(※少雨の場合、当該上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透することにより流量の計測値がゼロとなっている場合もあると考えられる。)

■降水量について

- ・2月で日降水量の最大を記録した日は、2/16の40.5nmであった。
- ⇒1月の日最大降水量は44mmであり、同様な降水量であった。
- •2月の月降水量は124mmである。
- ⇒1月の月降水量は238mmであり、2月は1月の約半分と、少ない降水量であった。